

〔特別掲載〕

(東京女医大誌 第30巻 第11号)
(頁2297—2310 昭和35年11月)

本邦「全結核」年齢階級別死亡率性比の研究

東京女子医科大学衛生学教室 (主任 吉岡博人教授)

明 石 み 代
アカ シ ム 代

(受付 昭和35年9月7日)

緒 言

さきの研究¹⁾において著者は「全結核」および「臓器別結核」死亡率性比の年次の観察を全年令について行なった。つぎにこれを年齢階級別に分析してみたい。本報では「全結核」につき性別年齢階級別死亡率とその性比の年次の推移を観察する。

資料および研究方法

資料:

先報¹⁾に同じ。

研究方法:

明治32年より昭和30年にいたる57年間で、資料の都合で明治32, 36, 41年, 大正2年の4年度, および大正5年以降の毎年における「全結核」死亡率を, 性別および年齢5才階級別に求め, ついでこれの性比を算出し, 両者の年次の推移を観察した。

$$\text{性比} = (\text{男子死亡率} / \text{女子死亡率}) \times 100$$

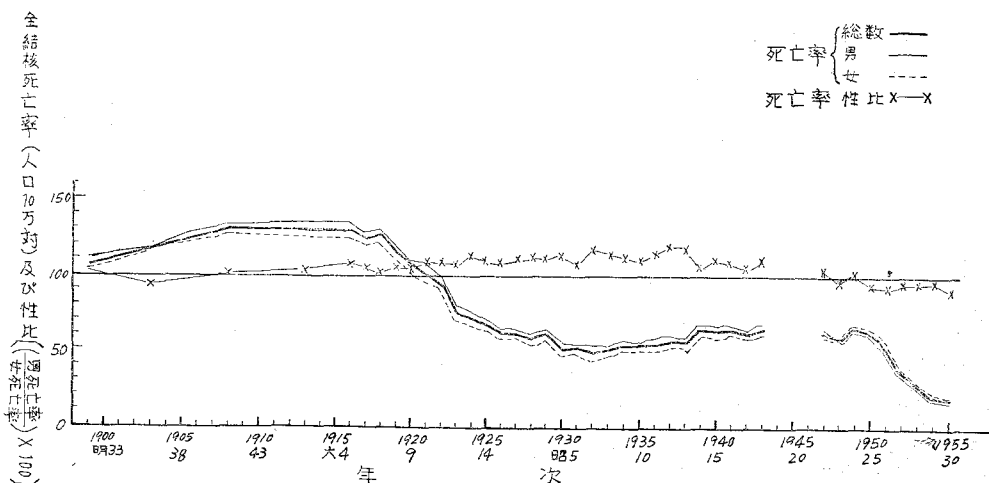
研究の結果

I. 「全結核」性別年齢階級別死亡率および死亡率性比の年次の推移

1. 0～4才 (第1図, 末尾の付表, 以下同様)

死亡率(人口10万対, 以下同様)は明治32年に男112.1, 女107.7で男子がわずかに高い。以後男子は大正5年まで上昇して全期間中の最高値136.5を示し, 女子は明治41年まで上昇して最高値129.8を示す。以後男女ともに下降に向うが, 大正7年までは停滞し, 大正8年より急下降して昭和7年に男女ともに戦前における最低値を示す。ついで多少の起伏はあるが, 男子は昭和18年まで, 女子は昭和22年まで緩徐に上昇する。以後は男女ともに昭和24年の一時上昇以外は急激に下降する。

性比は明治32年に104.1で始まり, 明治36年に女子死亡率が男子よりも急上昇するために98.5に下降するのが戦前における唯一の100以下の年で, 以後は死亡率の昇



第1図 「全結核」性別年齢階級別死亡率および死亡率性比(0～4才)

Miyo ASAKI (Department of Hygiene, Tokyo Women's Medical College) : Studies on the sex ratio of age specific death-rates from tuberculosis of all organs in Japan.

降にかかわらず性比はほぼ逐年上昇して、昭和7年に全期間中の最高値119.8を示す。以後多少の起伏はあるが、110前後で昭和18年まで経過し、戦後は昭和24年に死亡率一時上昇に平行して性比も100を越えるが、これ以外は性比100以下に下降、しかも逐年死亡率とともに性比も下降する。

2. 5～9才 (第2図)

死亡率は明治32年に男36.2、女50.9で女子が男子の1.4倍強高い。以後男女ともに逐年上昇して、大正7年に男69.7、女110.0で男女ともに全期間中の最高値を示す。ついで男女とも昭和7年まで下降して後は昭和22年まで停滞し、昭和23年より逐年著明に下降、特に女子死亡率下降が急で昭和30年に全期間中ではじめて男子死亡率より低くなる。

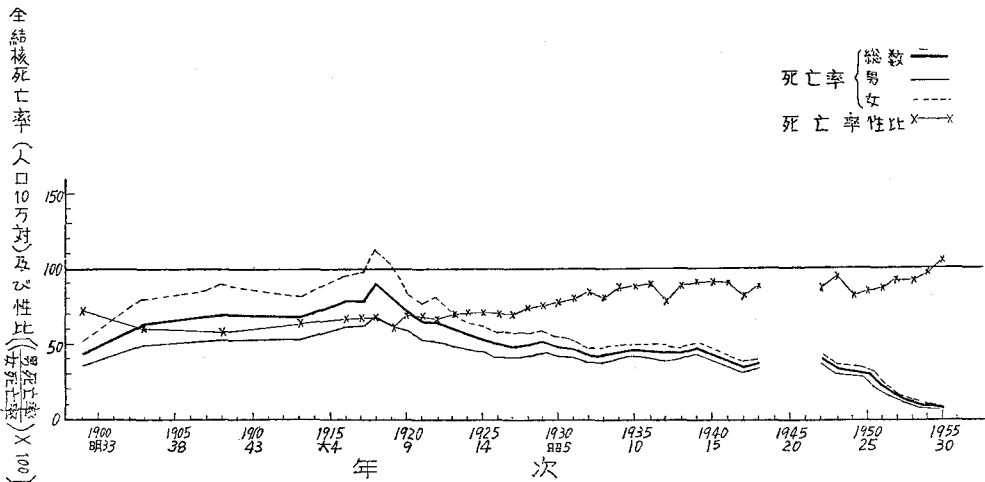
性比は明治32年に71.1で、以後死亡率上昇に逆行して下降し、明治41年に全期間中の最低値59.8を示す。以後

死亡率昇降にかかわらず性比は緩やかに上昇して70付近に達するが、昭和3年より逐年上昇し、同11年に90をこえる。以後停滞するが、昭和23年に上昇、翌年下降後は死亡率に逆行して逐年上昇し、昭和30年にはじめて100を越える。

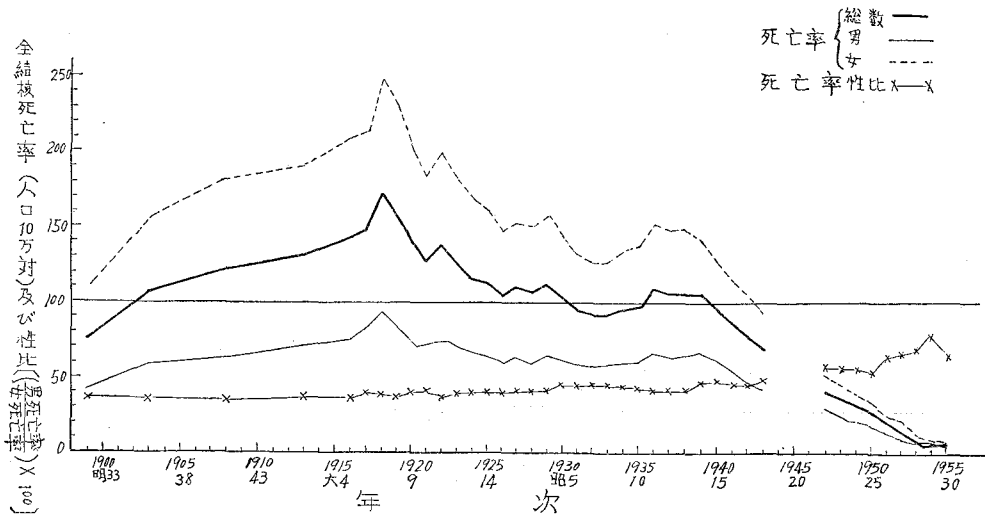
3. 10～14才 (第3図)

死亡率は明治32年に男42.9、女111.1で女子が男子の2.8倍強高い。以後男女ともに逐年上昇し、大正7年に全期間中の最高値男96.2、女247.4を示す。以後男女ともに多少の起伏はあるが昭和7年まで下降、同14年まで上昇し、同15年以降は戦後まで下降しつづける。この年齢階級では死亡率の昇降にかかわらず、終始一貫して常に女子死亡率が男子より著明に高い。

性比は明治32年に38.6で、以後死亡率上昇に逆行して性比下降し、明治41年に全期間中の最低値34.7を示す。以後死亡率とともに上昇し、大正9年に40の線に達し、



第2図 「全結核」性別年齢階級別死亡率および死亡率性比(5～9才)

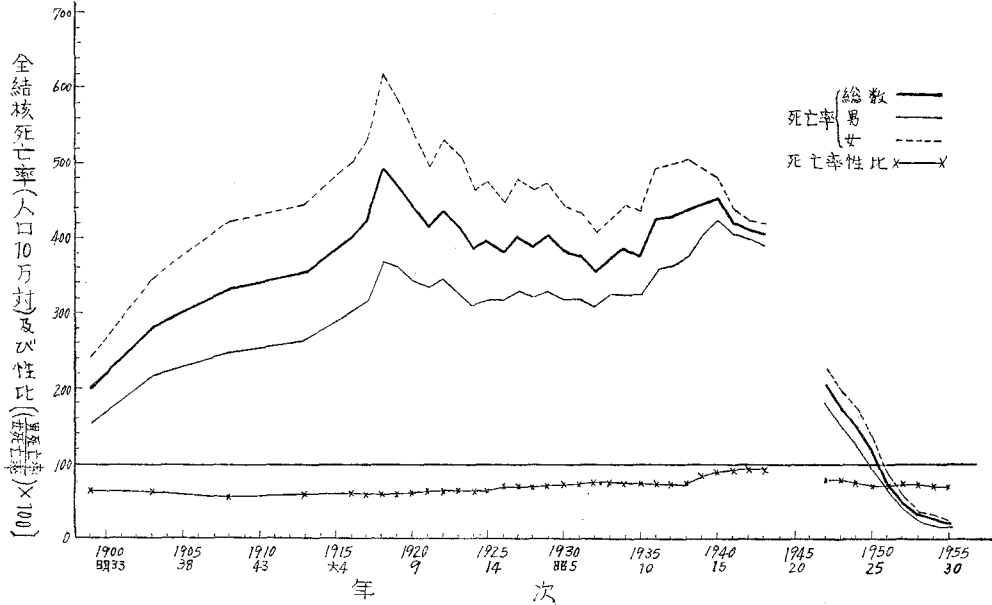


第3図 「全結核」性別年齢階級別死亡率および死亡率性比(10～14才)

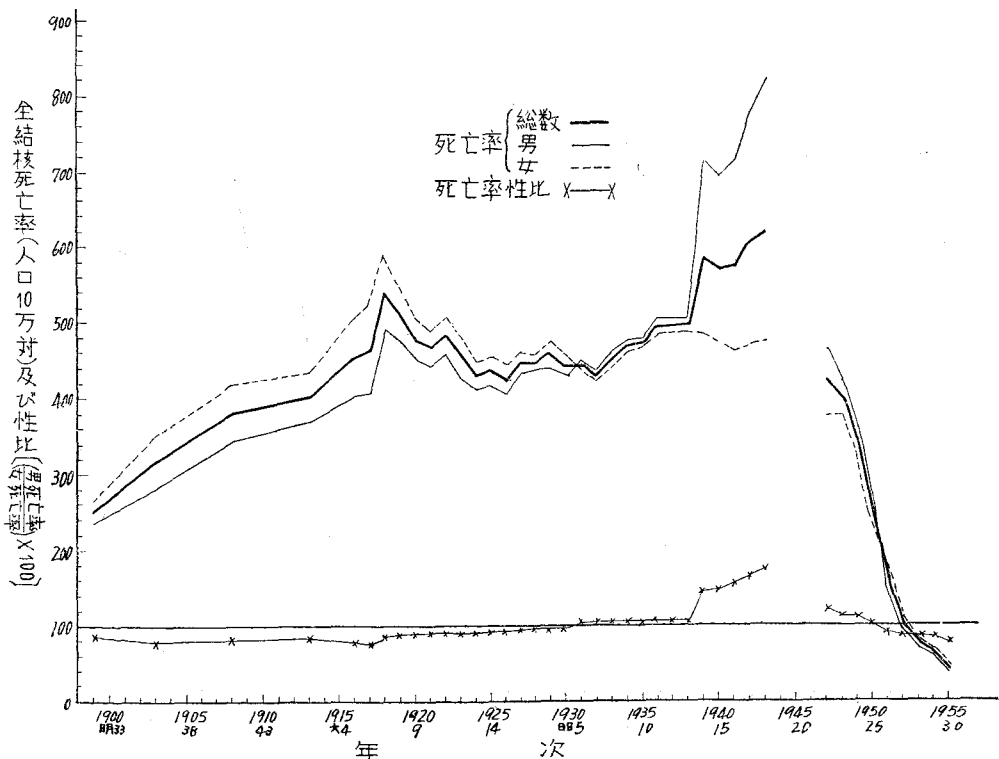
ついて昭和4年まで停滞後上昇し、昭和22年にはじめて50をこえ、多少の起伏はあるが死亡率に逆行して上昇し、昭和26年に60をこえ、同29年に全期間中の最高値77.4を示し、翌30年に再び60台に戻る。この年齢階級では性比は終始低く、昭和18年まで50以下で経過し、戦後はじめて50の線をこえる。

4. 15~19才 (第4図)

死亡率は明治32年に男157.5、女243.5で女子が男子の1.5倍強高い。以後男女ともに大正7年まで上昇し、女子は全期間中の最高値618.6を示す。ついて男女とも多少の起伏はあるが大正13年まで下降し、昭和10年まで停滞する。以後男女ともに上昇して、女子は昭和13年の第



第4図 「全結核」性別年齢階級別死亡率および死亡率性比 (15~19才)



第5図 「全結核」性別年齢階級別死亡率および死亡率性比 (20~24才)

2 峯を示し、男子は昭和15年に全期間中の最高値 426.8 を示す。以後は男女ともに逐年下降し、戦後は特に急下降する。この年令階級では終始女子死亡率が男子より著明に高い。

性比は明治32年に64.7で、以後死亡率の昇降にかかわらず昭和4年まで60代で経過する。昭和5年にはじめて70をこえ、さらに上昇して同14年に80をこえ、同17年に全期間中の最高値94.9を示す。以後は下降して70台に戻る。この年令階級では常に性比は低く100以下である。

5. 20~24才 (第5図)

死亡率は明治32年に男238.9、女266.8で女子がわずかに高い。以後男女ともに大正7年まで上昇し、女子は全期間中の最高値 589.1 を示す。その後多少の起伏はあるが男女ともに昭和1年まで下降し、ついで男子は昭和18年まで、女子は同13年まで上昇する。男子は昭和18年に 822.1 で全期間中および全年令階級中の最高値を示す。以後男女ともに全年令階級中最も急激に下降し、昭和30年に男40.9、女46.7を示す。

性比は明治32年に89.5で、以後死亡率に逆行して下降するが大正9年まで80代で経過する。大正10年より昭和5年まで90代で経過し、昭和6年にはじめて100を越えさらに逐年上昇し、昭和18年に全期間中の最高値 172.8 を示す。戦後は死亡率とともに性比も逐年下降し、昭和26年に100を割り、同30年に80台に戻る。

6. 25~29才 (第6図)

死亡率は明治32年に男208.0、女245.6で女子が男子の1.1倍強高い。以後男女ともに大正7年まで上昇し、女子は全期間中の最高値 470.7 を示す。以後昭和1年まで男女ともに下降し、同2年より上昇するが、特に男子の

上昇が著明で同6年に女子をこえる。以後男子は昭和15年の一時下降以外は上昇し、昭和18年に全期間中の最高値 689.1 を示し、女子もまた高い。戦後は男女ともに急下降する。

性比は明治32年に84.7で、以後大正13年まで死亡率の昇降にかかわらず80台で経過し、大正14年より昭和5年まで90台で経過する。昭和6年にはじめて100をこえてからは死亡率とともに上昇し、昭和18年に全期間中の最高値 176.8 を示す。戦後は死亡率とともに逐年下降するが、100以上にとどまる。

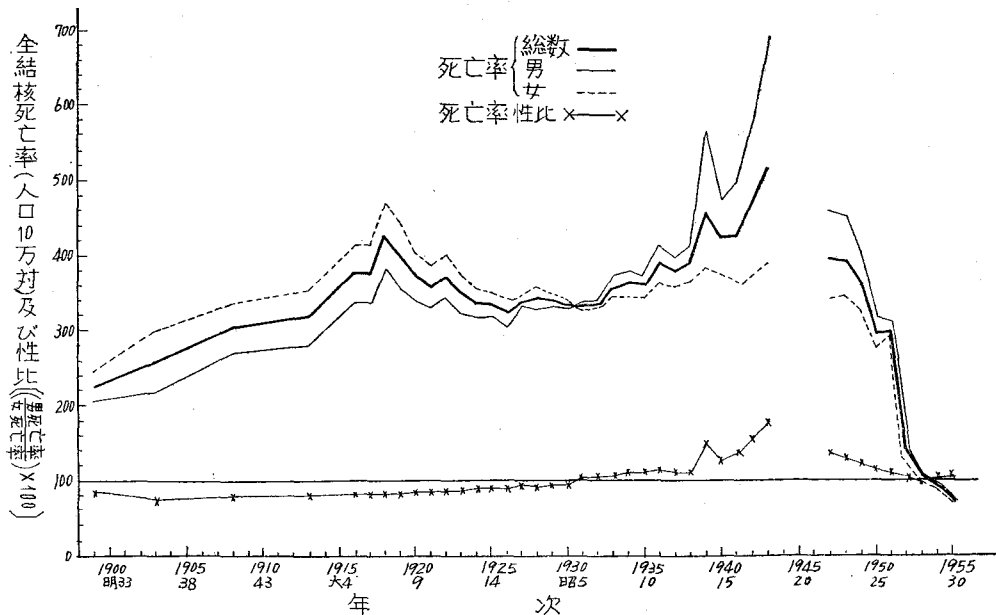
7. 30~34才 (第7図)

死亡率は明治32年に男180.3、女195.5で女子がわずかに高い。以後男女ともに大正7年まで上昇し、女子は全期間中の最高値 352.3 を示す。ついで男女ともに昭和1年まで下降の後上昇し、昭和18年に男子は全期間中の最高値 405.0 を示す。戦後は男女ともに逐年急下降する。

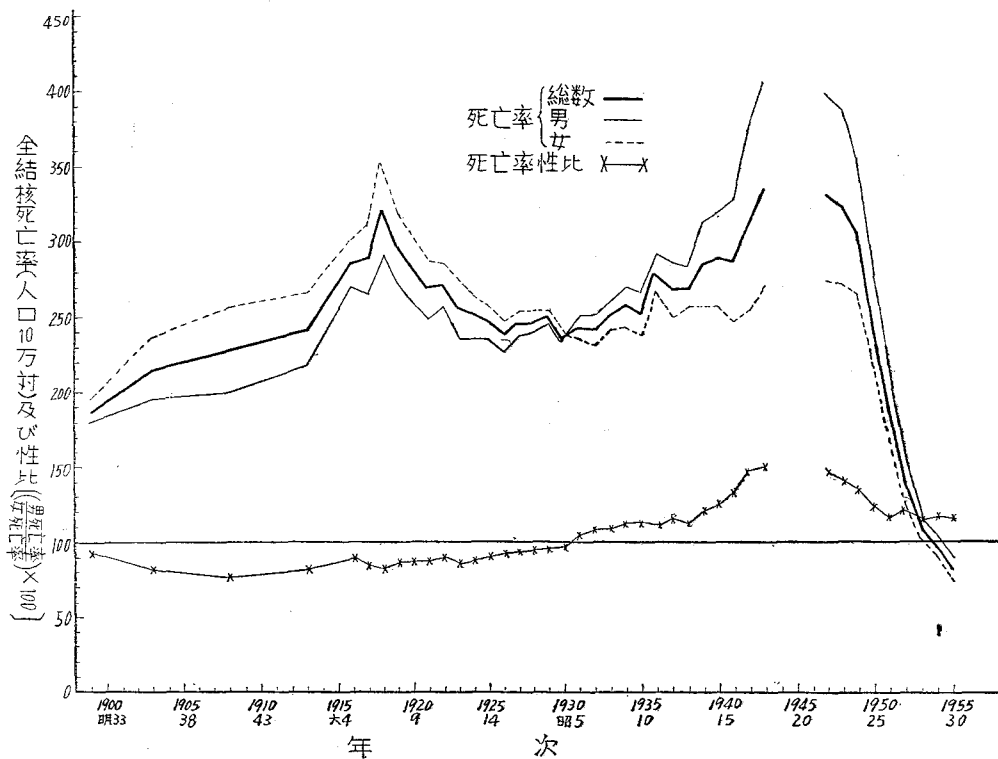
性比は明治32年に92.2で、以後死亡率に逆行して下降するが、大正13年まで80代で経過する。大正14年に90をこえてからは死亡率とともに上昇し、昭和6年にはじめて100を越え、同18年に全期間中の最高値 149.8 を示す。戦後は死亡率とともに逐年下降するが110台にとどまる。

8. 35~39才 (第8図)

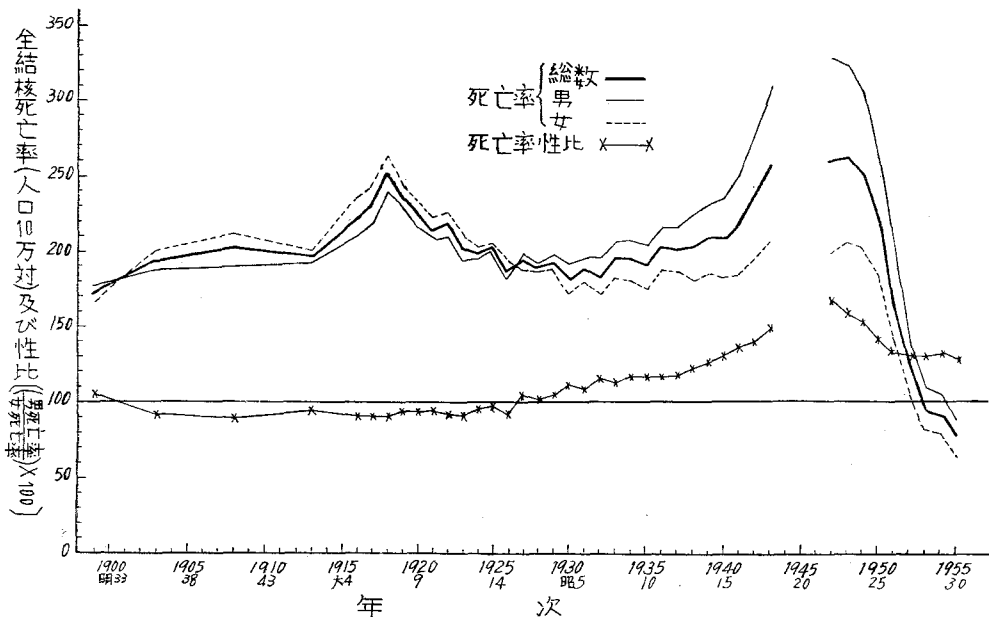
死亡率は明治32年に男178.3、女166.9で男子が高いが、以後は女子が高い。男女ともに大正7年まで上昇し、女子は全期間中の最高値 264.6 を示す。ついで多少の起伏はあるが、男子は昭和初年まで、女子は同5年まで下降する。その後女子は昭和18年まで、男子は同22年まで上昇し、男子は全期間中の最高値 327.7 を示す。以



第6図 「全結核」性別年令階級別死亡率および死亡率性比 (25~29才)



第7図 「全結核」性別年令階級別死亡率および死亡率性比 (30~34才)



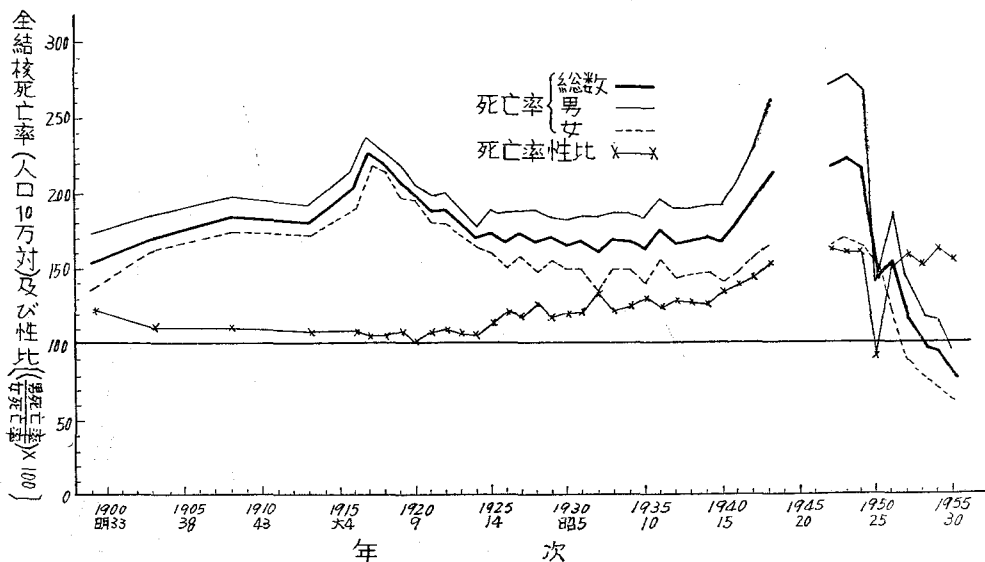
第8図 「全結核」性別年令階級別死亡率および死亡率性比 (35~39才)

後は男女ともに逐年急下降する。

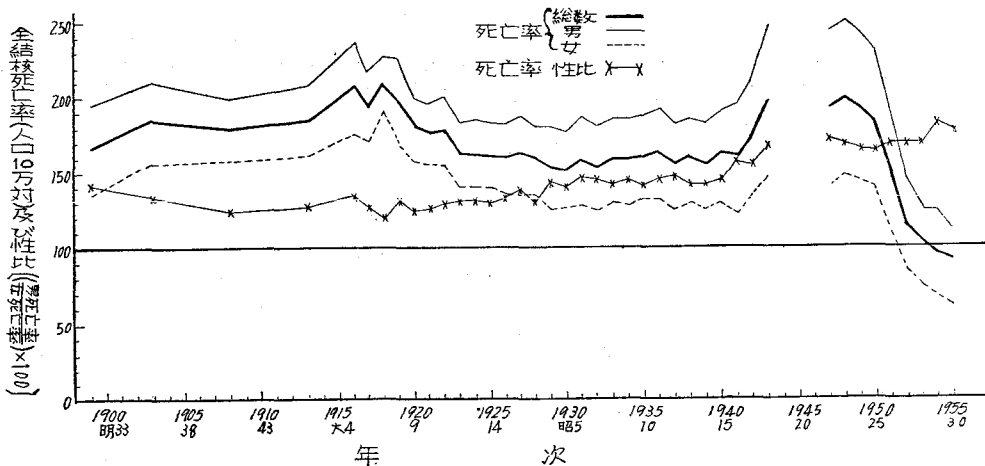
性比は明治32年に106.8を示すが、以後昭和初年まではほぼ90台で経過する。昭和2年に100を越えてからは死亡率とともに上昇し、昭和22年に全期間中の最高値166.1を示す。以後は死亡率とともに下降するが130前後にとどまる。

9. 40~44才 (第9図)

死亡率は明治32年に男171.7、女138.0で、男子が女子の1.2倍強高い。以後男女ともに大正6年まで上昇し、女子は全期間中の最高値220.9を示す。ついで男女ともに多少の起伏はあるが、昭和10年まで下降してから昭和23年まで上昇し、男子は全期間中の最高値275.5を示す。



第9図 「全結核」性別年齢階級別死亡率および死亡率性比(40~44才)



第10図 「全結核」性別年齢階級別死亡率および死亡率性比(45~49才)

以後は昭和26年に男子が一時上昇する以外は、男女ともに逐年下降する。

性比は明治32年に124.4で高く、以後死亡率に逆行して大正7年まで下降するが100代にとどまる。ついで大正13年まで停滞し、同14年より多少の起伏はあるが死亡率とともに上昇して、昭和22年に全期間中の最高値164.6を示す。以後は昭和25年に一時100を割るが、他は大体150代で経過する。

10. 45~49才(第10図)

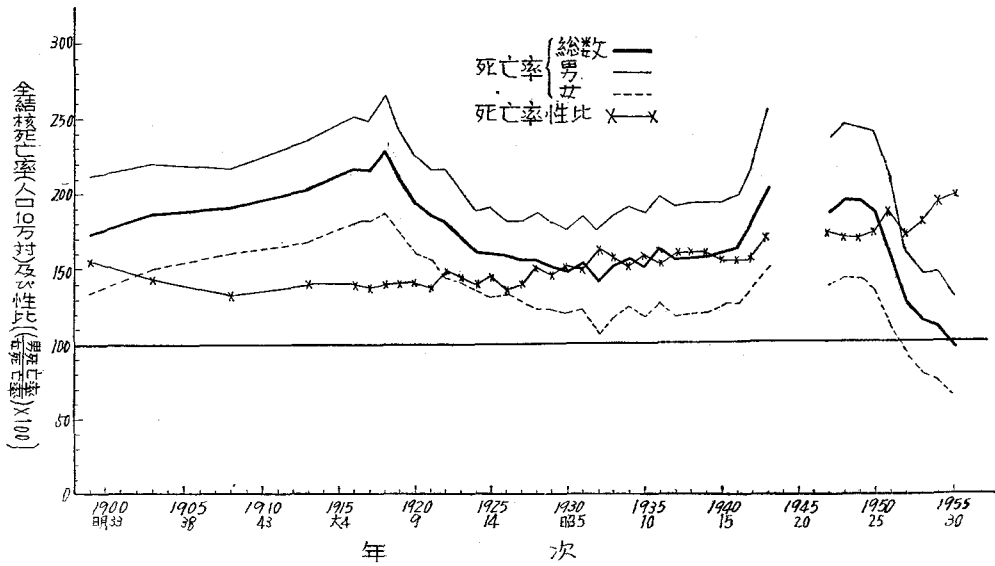
死亡率は明治32年に男196.3、女136.5で、男子は女子の1.4倍強高い。以後男子は明治41年以外は大正5年まで上昇し、女子は大正7年まで上昇して全期間中の最高値190.4を示す。以後男子は昭和5年まで下降の後、昭和23年まで上昇して全期間中の最高値249.7を示す。女子は昭和4年まで下降してから同18年まで上昇する。

以後は男女ともに逐年下降するが、特に女子の下降が著明である。

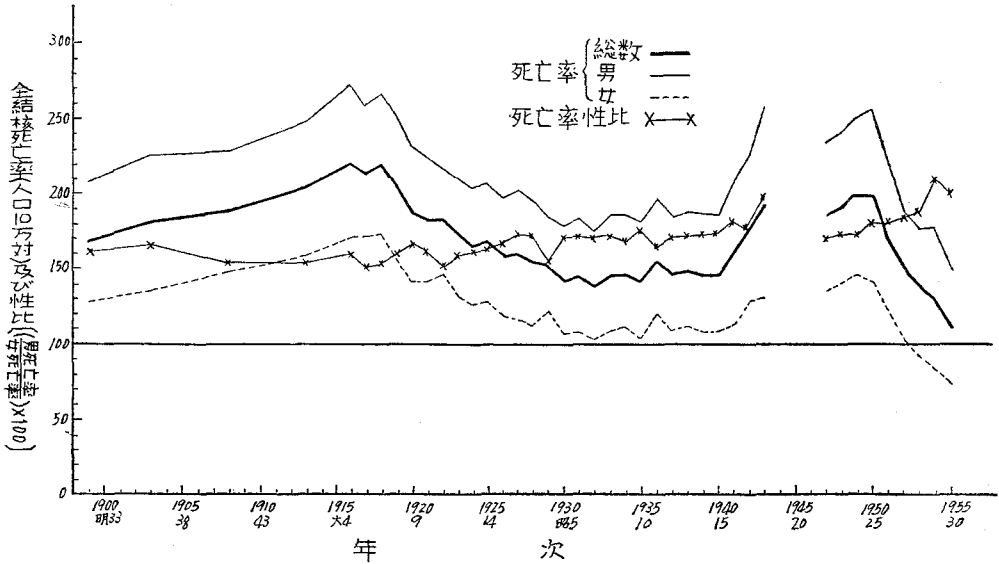
性比は明治32年に143.8で高く、以後死亡率に逆行して明治41年まで下降し、大正5年まで死亡率とともに上昇し、以後下降して大正7年に全期間中の最低値120.1を示す。以後多少の起伏はあるが、死亡率昇降にかかわらず性比は逐年上昇し、昭和16年に150をこえ、同29年に全期間中の最高値185.7を示し、以後も高い。

11. 50~54才(第11図)

死亡率は明治32年に男211.2、女134.9で、男子は女子の1.6倍弱高い。以後男女ともに大正7年まで上昇して、全期間中の最高値男265.8、女188.7を示す。ついで男子は昭和初年まで下降の後同7年まで停滞し、女子は昭和7年までの下降の後同14年まで停滞する。以後は男女ともに昭和18年まで上昇し、戦後は急下降するが、特



第11図 「全結核」性別年令階級別死亡率および死亡率性比 (50~54才)



第12図 「全結核」性別年令階級別死亡率および死亡率性比 (55~59才)

に女子の下降が著明である。

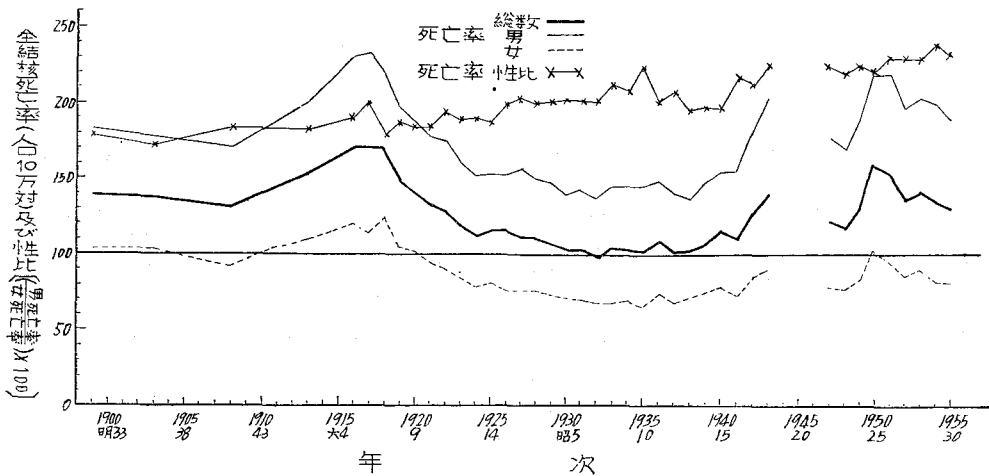
性比は明治32年に 156.6 で著明に高く、以後死亡率に逆行して明治 41 年まで下降して全期間中の最低値 133.7 を示し、ついで死亡率とともに大正 2 年まで上昇し、同 10 年まで停滞する。以後多少の起伏はあるが、死亡率昇降にかかわらず性比は逐年上昇し、昭和 18 年に 170 をこえ、同 30 年に全期間中の最高値 198.6 を示し著明に高い。

12. 55~59才 (第12図)

死亡率は明治32年に男208.2、女127.9で、男子は女子の 1.6 倍強高い。以後男子は大正 5 年まで上昇して全期間中の最高値 272.7 を示し、女子は大正 7 年まで上昇し

て最高値 173.2 を示す。ついで多少の起伏はあるが、男子は昭和 5 年まで下降の後 10 年まで停滞し、女子は昭和 7 年まで下降の後 15 年まで停滞する。以後男子は昭和 22 年の一時下降以外は同 25 年まで上昇し、女子は同 24 年まで上昇する。以後は男女ともに下降するが、特に女子の下降が著明である。

性比は明治32年に 162.8 で著明に高く、以後死亡率昇降にかかわらず大正 10 年まで 160 の線を上下して経過し、大正 11 年に下降して全期間中の最低値 148.7 を示す。性比 150 以下はこの年のみである。ついで死亡率に逆行して上昇し昭和 2 年に 170 をこえ、同 15 年まで停滞後は死亡率とともに上昇し、昭和 18 年に 190 をこえる。戦後



第13図 「全結核」性別年齢階級別死亡率および死亡率性比（60才以上）

は昭和22年に死亡率とともに下降するが、翌23年より死亡率昇降にかかわらず上昇し、同29年以降は200をこえる。

13. 60才以上（第13図）

死亡率は明治32年に男183.1，女102.3で，男子は女子の1.8倍弱高い。以後男女ともに明治41年まで下降の後，男子は大正6年233.4まで，女子は大正7年124.4まで上昇して全期間中の最高値を示す。以後男子は昭和7年まで下降後同13年まで停滞し，女子は昭和10年まで下降後同16年まで停滞する。ついで男女ともに昭和18年まで上昇し，戦後は昭和23年まで下降の後，男子は同26年まで女子は同25年まで上昇し，以後は男女ともに緩徐に下降する。

性比は明治32年に179.0で著明に高い。同36年に死亡率とともに下降して全期間中の最低値173.6を示す。以後多少の起伏はあるが，死亡率昇降にかかわらず性比は逐年上昇し，昭和2年に200を越える。ついで昭和15年まで停滞の後上昇し，昭和29年に240をこえる。この年齢階級の性比は全年令階級中で終始最も高い。

II. 「全結核」年齢階級別死亡率性比の相互比較

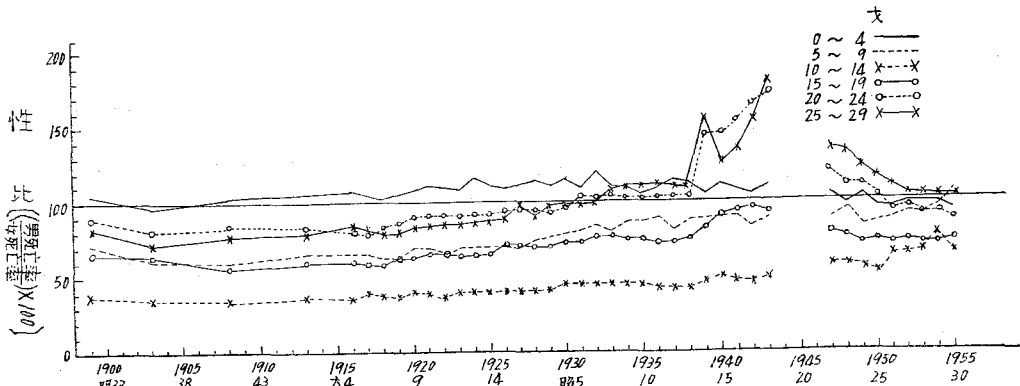
つぎに「全結核」年齢階級別死亡率性比の相互比較のために，各年齢階級別死亡率性比の年次変化を同一図上に描いて検討した。

性比100の線を越えるものがわずかで，おおむね100以下に位する0～29才を一括して第14図aに，前者に反し，性比100以下はわずかで，おおむね100の線をはるかにこえる30才以上を一括して第14図bに示した。

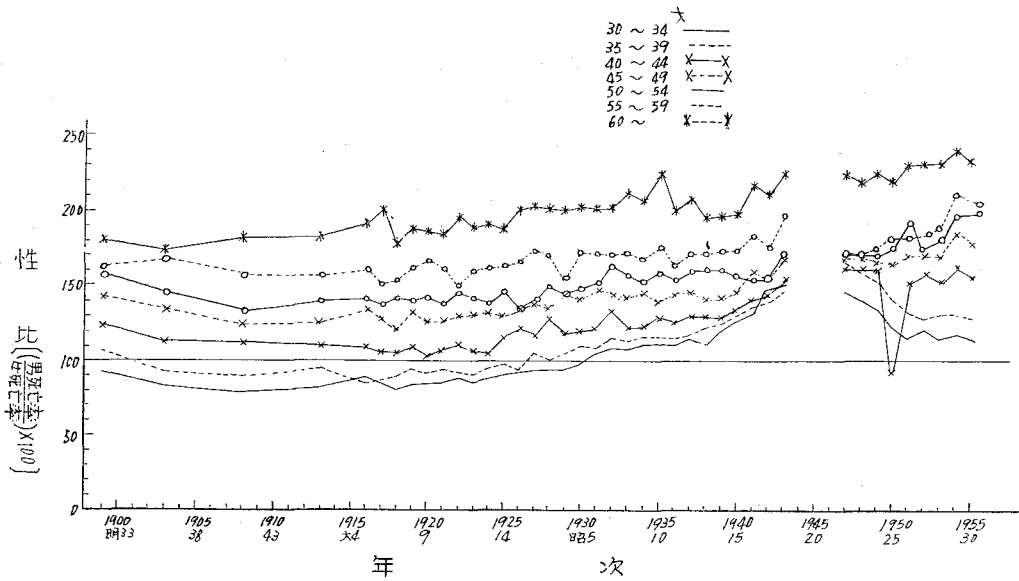
a. 0～29才（第14図a）

死亡率性比がおおむね100以下の30才未満の年齢階級のうちで，0～4才は明治36年，昭和23年，同25年以降を除き性比が100より高い。本年令階級は30才未満の階級においては昭和10年頃までは最も高性比であるが，その後は20～24才，25～29才の性比が急騰するので，それらより以下で戦後は90台に下降する。

20～24才，25～29才ではおおむね近似の経過をとり，昭和5年までは100以下で昭和6年に100をこえ，同14年以降の急上昇の角度も，同22年以降の下降角度も近似する。しかし20～24才では昭和26年以降性比100以下にもどるが，25～29才では同年以降100に接近するが100の線よりわずかに上にとどまる。



第14図 a 「全結核」性別年齢階級別死亡率および死亡率性比（0～29才）



第14図b 「全結核」年令階級別死亡率性比(30才以上)

5~9才, 15~19才では近似の経過をとり, 5~9才の昭和30年を除き性比は100以下で, しかも20~24才, 25~29才より低い。

10~14才では他の年令階級より特にはなれて低く, 昭和18年までは性比50以下で経過し, 同22年以降上昇するが, 他の年令階級よりはるかに低く昇降の幅も少ない。

b. 30才以上(第14図b)

死亡率性比がおおむね100以上に位する30才以上の年令階級のうちに, 30~34才, 35~39才の階級は昭和初期まで100以下で経過し, 30~34才では昭和6年, 35~39才では昭和2年に100の線をこえるが, 以後は100以下に下降することはない。また30~34才, 35~39才ではその昇降の角度は近似するが, 30~34才が低い位置にあり, 戦後に性比が下降曲線を示すのはこれら2階級のみである。

40才以上の階級ではいずれも100の線以上でおおむね近似の経過をとり, しかも高年令階級ほど高性比を示す。しかし戦後も上昇傾向を示す。40~44才では昭和18年までは30~34, 35~39才の経過と同傾向でそれより高く, 戦後は昭和25年以外は高年令階級の経過と同傾向を示す。

45~49才, 50~54才では終始近似の経過をとり, これより低い年令階級より常に高く, 戦後は性比の上昇角度が急である。

55~59才では終始150の線以上で経過し, 戦後の上昇角度も急である。

60才以上では他の年令階級よりとくにはなれて高く, その上昇角度はゆるやかであるが終始上昇曲線を描き, 昭和2年以降は200の線を越える。

総合的考察および結論

以上明治32年より昭和30年にいたる57年間の「全結核」性別年令階級別死亡率および死亡率性比を, 各年令階級別に観察した結果を総合すればつぎのことが看取される。

I. 「全結核」性別年令階級別死亡率

1. 0~4才では死亡率はほぼ年次を追って下降し, 総年令でみられる死亡率上昇による大正および昭和の双峯はともに現われない。しかしとおおむね男子死亡率が女子より高い。
2. 5~9才では死亡率は大正年代に上昇して第1峯のみが現われ, 以後はほぼ年次を追って下降する。しかし昭和30年以外は女子死亡率が男子より高い。
3. 10~14才では死亡率上昇による大正および昭和の双峯を示し, 第1峯が第2峯より高い。しかし女子死亡率が男子より終始高い。
4. 15~19才では大正および昭和の双峯を示し, 男子は第1峯より第2峯が高く, 女子は第1峯が高い。しかし女子死亡率が男子より終始高い。
5. 20~24, 25~29, 30~34才では大正および昭和の双峯を示し, 男子は第1峯より第2峯が高く, 女子は第1峯が高い。昭和5年までは女子死亡率が男子より高く, 昭和6年以降は男子が女子より高い。
20~24, 25~29才では第2峯の頂点は全年令階級中で最も高い。
- 以上の10~34才では第2峯の頂点は昭和18年である。
6. 35~39才では大正および昭和の双峯を示し, 男子は第1峯より第2峯が高く, 女子は第1峯が高い。第2峯の頂点は昭和22年である。昭和1年まで女子死亡率が男子より高く, 昭和2年以降は男子が女子より高い。
7. 40~44, 45~49才では大正および昭和の双峯はを

付 表 「全 結 核」 性 別 年 令 階 級 別 死 亡 率 (人口10万対)
 および死亡率性比{(男子死亡率/女子死亡率)×100}

年 次	0～4才					5～9才					10～14才				
	死 亡 率			死亡率性比	死 亡 率			死亡率性比	死 亡 率			死亡率性比			
	総数	男	女		総数	男	女		総数	男	女				
1899	明治32	109.8	112.1	107.7	104.1	43.5	36.2	50.9	71.1	76.6	42.9	111.1	38.6		
1903	36	119.4	118.5	120.3	98.5	63.6	49.0	78.5	62.4	107.4	57.6	158.5	36.3		
1908	41	132.3	134.7	129.8	103.8	69.9	52.5	87.8	59.8	122.2	63.3	182.6	34.7		
1913	大正2	132.5	136.0	128.9	105.5	67.4	53.9	81.2	66.4	130.1	71.7	190.4	37.7		
1916	5	131.2	136.5	125.8	108.5	77.9	62.3	93.9	66.3	142.0	76.0	209.3	36.3		
1917	6	126.3	129.7	122.8	105.6	78.4	62.8	94.4	66.5	147.4	83.1	213.0	39.0		
1918	7	129.4	131.3	127.4	103.1	89.6	69.7	110.0	63.4	170.9	96.2	247.4	38.9		
1919	8	116.7	120.5	113.0	106.6	80.9	62.2	100.1	62.1	157.3	85.4	231.0	37.0		
1920	9	107.8	111.5	104.1	107.1	71.0	59.1	83.2	71.0	139.0	79.4	200.1	40.0		
1921	10	103.6	108.6	98.6	110.1	64.8	53.3	76.6	69.6	127.6	73.2	183.2	40.0		
1922	11	96.1	100.5	91.7	109.6	65.2	51.3	79.3	64.7	138.0	75.9	201.4	37.7		
1923	12	76.1	79.3	72.8	108.9	59.5	48.8	70.4	69.3	125.1	71.4	180.0	40.0		
1924	13	72.3	77.1	67.5	114.2	56.1	46.5	65.8	70.7	116.5	66.8	167.5	40.0		
1925	14	68.9	72.7	65.0	111.8	53.3	44.5	62.3	71.4	112.3	64.4	161.5	40.0		
1926	昭和1	62.0	64.8	59.1	109.6	49.0	40.7	57.4	70.9	103.0	59.0	148.1	40.0		
1927	2	63.2	66.5	59.8	111.2	48.1	39.4	56.9	69.2	108.3	64.0	153.8	41.1		
1928	3	59.5	63.3	55.7	113.6	49.0	41.9	56.3	74.4	106.0	61.3	151.6	40.4		
1929	4	63.2	66.7	59.7	111.7	51.6	44.6	58.7	76.0	110.7	65.4	157.0	41.7		
1930	5	52.7	56.2	49.2	114.2	48.2	42.0	54.4	77.2	102.5	62.9	143.0	44.0		
1931	6	54.2	56.3	52.0	108.3	46.2	41.4	51.1	81.0	95.8	59.2	133.0	44.5		
1932	7	51.0	55.6	46.4	119.8	41.9	38.4	45.4	84.6	92.1	57.3	127.6	44.9		
1933	8	51.7	54.2	49.2	110.2	42.9	38.5	47.3	81.4	92.9	58.5	127.9	45.7		
1934	9	56.3	58.9	53.7	109.7	44.0	41.2	47.0	87.7	96.5	59.6	134.0	44.5		
1935	10	55.1	56.8	53.4	106.4	46.3	43.2	49.4	87.4	99.4	61.3	138.3	44.3		
1936	11	56.3	59.4	53.2	111.7	46.0	43.9	48.2	91.1	109.4	67.0	152.6	43.9		
1937	12	58.6	62.4	54.7	114.1	44.7	40.2	49.3	81.5	105.9	64.6	148.1	43.6		
1938	13	56.9	60.4	53.3	113.3	45.3	42.7	47.9	89.1	106.5	64.2	149.6	42.9		
1939	14	65.5	67.0	64.1	104.5	48.4	46.0	50.9	90.4	105.5	68.5	143.2	47.8		
1940	15	55.4	58.7	52.0	112.9	43.7	41.4	45.9	90.2	96.1	63.9	128.9	49.6		
1941	16	56.5	58.9	54.1	108.9	39.1	37.2	41.1	90.5	84.7	54.6	115.3	47.3		
1942	17	52.8	54.2	51.4	105.4	35.0	31.9	38.2	83.5	77.0	48.9	105.8	46.2		
1943	18	66.0	69.3	62.6	110.7	36.5	34.1	38.9	87.7	69.6	46.3	93.4	49.6		
1944	19														
1945	20														
1946	21														
1947	22	64.5	65.9	63.1	104.4	40.0	37.3	42.6	87.6	41.7	30.8	52.8	58.3		
1948	23	58.3	58.1	58.6	99.1	33.9	33.1	34.7	95.4	36.6	26.9	46.5	57.8		
1949	24	67.0	67.1	67.0	100.1	32.4	29.6	35.3	83.9	32.1	23.2	41.2	56.3		
1950	25	63.2	62.1	64.3	96.6	31.0	28.8	33.2	86.8	27.8	19.4	36.4	53.3		
1951	26	51.1	49.7	52.7	94.3	22.1	20.7	23.6	87.7	20.7	16.2	25.2	64.3		
1952	27	36.3	36.1	36.5	98.9	15.4	14.9	15.9	93.7	14.3	11.4	17.3	65.9		
1953	28	26.6	26.6	27.0	97.0	12.1	11.6	12.6	92.1	9.6	7.8	11.4	68.4		
1954	29	21.8	21.7	22.0	98.6	9.0	9.0	9.3	96.8	8.2	7.2	9.3	77.4		
1955	30	15.7	15.0	16.3	92.0	5.8	6.0	5.7	105.3	6.3	4.9	7.6	64.5		

15~19才				20~24才				25~29才			
死亡率			死亡率性比	死亡率			死亡率性比	死亡率			死亡率性比
総数	男	女		総数	男	女		総数	男	女	
200.1	157.5	243.5	64.7	252.7	238.9	266.8	89.5	226.5	208.0	245.6	84.7
281.1	218.9	345.0	63.4	315.8	282.2	350.2	80.6	260.8	221.7	301.0	73.7
333.2	248.0	421.3	58.9	380.5	346.7	415.0	83.5	305.0	273.0	337.3	80.9
354.3	265.2	446.2	59.4	401.0	369.4	433.7	85.2	319.5	286.3	353.9	80.9
401.0	302.1	500.3	60.4	453.9	402.1	507.6	79.2	375.9	338.7	414.2	81.8
422.1	314.8	530.0	59.4	463.9	407.5	522.3	78.0	374.7	337.3	413.1	81.7
490.8	365.2	618.6	59.0	540.5	492.9	589.1	83.7	426.5	384.1	470.7	81.6
471.3	362.6	583.0	62.2	510.2	473.2	547.6	86.4	399.3	358.0	442.4	80.9
440.0	343.1	539.9	63.5	478.7	452.5	505.3	89.6	372.6	342.8	403.8	84.9
413.7	333.7	496.1	67.3	464.6	441.3	488.4	90.4	359.0	332.4	386.8	85.9
436.8	346.0	530.5	65.2	482.8	458.6	507.7	90.3	372.2	346.5	399.3	86.8
416.0	326.5	508.7	64.2	453.5	428.3	479.6	89.3	349.7	324.7	376.0	86.4
385.1	309.4	463.3	66.8	429.2	411.2	447.8	91.8	337.5	317.4	358.7	88.5
393.1	313.1	475.6	65.8	434.4	415.5	453.9	91.5	335.6	320.7	351.2	91.3
381.7	316.4	448.6	70.5	421.7	404.9	439.2	92.2	326.2	308.3	345.1	89.3
401.6	329.9	475.1	69.4	446.6	435.5	458.2	95.0	341.9	336.7	347.4	96.9
389.7	319.0	462.3	69.0	445.4	438.1	453.0	96.7	344.8	333.1	359.2	92.2
399.7	328.9	472.7	69.6	455.1	438.4	472.5	92.8	342.5	335.7	349.6	96.0
380.0	318.9	442.9	72.0	442.4	431.7	453.6	95.2	334.7	330.3	339.4	97.3
375.7	318.5	434.3	73.3	443.7	445.8	441.5	101.0	334.8	336.0	333.5	100.7
355.8	308.5	404.0	76.4	429.5	432.9	425.9	101.6	337.2	341.0	333.1	102.4
374.9	325.2	426.0	76.3	451.8	460.7	442.7	104.1	359.7	370.2	348.7	106.2
385.9	328.6	444.3	74.0	470.4	475.5	465.2	102.2	365.1	381.1	348.5	109.4
378.3	323.0	434.7	74.3	467.8	475.6	459.9	103.4	361.0	376.5	344.9	109.2
425.4	361.2	490.9	73.6	496.2	504.5	487.8	103.4	390.7	413.3	367.4	112.5
429.1	362.8	497.0	73.0	493.5	499.9	487.2	102.6	379.3	395.8	362.3	109.2
438.2	376.9	501.1	75.2	497.2	503.9	490.3	102.8	389.7	411.3	367.8	111.8
448.6	406.4	491.6	82.7	585.1	713.3	488.2	146.1	454.5	562.6	375.4	149.9
452.8	426.8	478.7	89.2	571.6	692.6	475.3	145.7	424.0	472.5	378.9	124.7
420.7	454.7	436.8	92.7	575.5	711.4	464.7	153.9	426.4	495.9	363.3	136.5
410.1	399.4	420.9	94.9	600.7	776.0	471.1	164.7	466.7	577.7	374.8	154.1
403.8	389.9	417.9	93.2	617.4	822.1	475.8	172.8	514.5	689.1	389.8	176.8
203.2	179.7	226.8	79.2	424.0	465.8	386.1	120.6	394.9	461.7	342.6	134.8
171.7	148.9	194.7	76.5	398.6	419.9	378.4	111.0	393.5	455.8	344.8	132.2
148.2	123.9	172.7	71.7	343.2	360.5	326.6	110.4	360.4	402.3	326.8	123.1
114.2	95.7	133.0	72.0	254.6	256.0	253.3	101.1	294.0	317.0	274.7	115.4
74.0	61.9	86.4	71.6	158.7	154.1	163.3	94.4	201.0	210.4	192.9	109.1
47.7	40.2	55.3	72.7	103.8	99.7	107.8	92.5	139.1	141.6	136.8	103.5
30.4	24.9	36.0	69.2	73.7	69.6	77.9	89.3	108.4	109.4	107.4	101.9
26.1	22.0	30.3	72.6	63.6	60.8	66.5	91.4	94.2	94.9	93.6	101.4
18.4	15.3	21.5	71.2	43.8	40.9	46.7	87.6	71.7	72.7	70.8	102.7

付 表 「全 結 核」性 別 年 令 階 級 別 死 亡 率 (人口10万対)

および死亡率性比{(男子死亡率/女子死亡率)×100}

年 次	30~34才				35~39才				40~44才				
	死 亡 率			死亡率性比	死 亡 率			死亡率性比	死 亡 率			死亡率性比	
	総数	男	女		総数	男	女		総数	男	女		
1899	明治32	187.7	180.3	195.5	92.2	172.7	178.3	166.9	106.8	155.4	171.7	138.0	124.4
1903	36	215.8	196.4	236.1	83.2	194.2	188.2	200.5	93.9	173.3	184.1	162.0	113.6
1908	41	227.2	200.1	255.3	78.4	201.2	190.2	212.6	89.5	186.3	196.5	175.4	112.0
1913	大正 2	241.1	218.6	264.0	82.8	196.9	192.6	201.3	95.7	181.9	189.5	173.9	109.0
1916	5	284.4	269.5	299.2	90.1	222.9	210.1	235.9	89.1	202.8	213.5	191.8	111.3
1917	6	288.4	265.5	311.4	85.3	231.4	219.0	243.9	89.8	227.7	234.4	220.9	106.1
1918	7	321.3	290.6	352.3	82.5	251.8	239.0	264.6	90.3	220.3	226.2	214.3	105.6
1919	8	295.0	273.4	317.1	86.2	236.9	229.9	243.9	94.3	207.1	216.2	197.9	109.2
1920	9	281.2	260.9	302.1	86.4	224.0	215.1	232.9	92.4	199.3	203.1	195.5	103.9
1921	10	267.6	248.9	287.2	86.7	213.2	207.2	219.3	94.5	187.4	195.0	179.7	108.5
1922	11	271.2	256.2	286.9	89.3	218.6	211.5	225.9	93.6	188.5	197.7	179.2	110.3
1923	12	255.1	235.7	275.6	85.5	200.7	192.3	209.3	91.9	180.1	187.4	172.7	108.5
1924	13	250.3	236.0	265.6	88.9	197.3	194.1	200.8	96.7	170.7	175.8	165.4	106.3
1925	14	247.2	236.6	258.5	91.5	251.5	200.6	202.5	99.1	173.9	187.0	160.7	116.4
1926	昭和 1	236.4	227.4	246.0	92.4	186.8	180.0	193.9	92.8	168.9	185.5	151.9	122.1
1927	2	245.0	238.4	252.1	94.6	194.1	198.2	189.7	104.5	172.2	186.4	157.7	118.2
1928	3	245.4	238.6	252.8	94.4	188.3	189.1	187.5	100.9	167.8	187.8	147.0	127.8
1929	4	249.1	244.9	253.7	96.5	192.9	196.9	188.6	104.4	169.4	182.5	155.6	117.3
1930	5	235.8	235.4	236.3	99.7	181.2	189.8	171.9	110.4	165.4	180.9	149.1	121.3
1931	6	242.5	248.1	236.4	104.9	188.9	196.3	180.9	108.5	166.5	182.8	149.3	122.4
1932	7	240.8	250.4	230.6	108.6	183.6	196.1	170.1	115.3	160.4	183.9	135.3	135.9
1933	8	251.5	260.8	241.6	107.9	195.2	206.0	183.5	112.3	169.4	186.9	150.8	123.9
1934	9	257.5	270.5	243.7	111.0	195.0	208.0	180.9	115.0	168.9	186.8	149.8	124.7
1935	10	251.2	264.5	237.1	111.6	189.3	203.0	174.7	116.2	162.7	183.2	140.7	130.2
1936	11	278.7	290.8	265.8	109.4	202.2	216.2	187.1	115.6	176.9	195.8	156.5	125.1
1937	12	267.3	285.8	247.9	115.3	200.6	215.3	184.9	116.4	166.4	187.7	143.5	130.8
1938	13	270.4	283.3	256.8	110.3	203.2	223.4	181.9	122.8	168.2	188.7	146.2	129.1
1939	14	282.8	309.5	256.6	120.6	208.5	230.4	185.8	124.0	170.0	190.4	148.2	128.5
1940	15	287.1	318.1	255.9	124.3	207.4	233.9	179.9	130.0	167.9	191.6	142.7	134.3
1941	16	285.3	326.9	245.6	133.1	217.4	250.2	183.2	136.6	179.1	208.1	148.3	140.3
1942	17	310.6	372.4	253.1	147.1	237.2	276.3	196.9	140.3	194.8	229.5	158.3	145.0
1943	18	334.1	405.0	270.3	149.8	258.4	309.3	206.7	149.6	214.6	260.2	166.9	155.9
1944	19												
1945	20												
1946	21												
1947	22	329.7	396.8	272.0	145.9	259.5	327.7	197.3	166.1	217.9	270.6	164.4	164.6
1948	23	323.4	384.0	271.8	141.3	260.3	322.4	204.5	157.7	223.4	275.5	171.5	160.6
1949	24	304.9	354.5	263.1	134.7	251.0	306.6	201.3	152.3	215.4	266.5	165.2	161.3
1950	25	246.8	275.1	223.4	123.1	219.4	259.7	183.5	141.5	146.9	142.3	152.9	93.1
1951	21	184.6	200.5	171.6	116.8	162.8	188.1	149.6	133.8	153.0	185.9	122.1	152.3
1952	27	137.4	152.2	125.6	121.2	120.5	136.1	106.9	127.3	115.4	143.0	90.1	158.7
1953	28	107.1	115.5	100.4	115.0	95.1	108.7	83.2	130.6	97.2	118.3	77.7	152.3
1954	29	96.6	105.5	89.5	117.9	92.7	195.6	80.3	131.5	92.1	115.7	70.9	163.2
1955	30	81.0	87.3	75.8	115.2	77.1	87.9	68.2	128.9	77.9	95.8	62.0	154.5

45~49才				50~54才				55~59才				60才以上			
死亡率			死亡率 性比	死亡率			死亡率 性比	死亡率			死亡率 性比	死亡率			死亡率 性比
総数	男	女		総数	男	女		総数	男	女		総数	男	女	
167.3	196.3	136.5	143.8	174.1	211.2	134.9	156.6	168.4	208.2	127.9	162.8	139.8	183.1	102.3	179.0
184.0	210.0	156.4	134.3	187.2	221.1	151.8	145.7	181.8	226.9	135.5	167.5	137.3	177.2	102.1	173.6
179.0	199.4	157.6	126.5	189.6	216.2	161.7	133.7	188.8	228.8	148.1	154.5	129.8	170.5	92.9	183.5
186.3	208.0	163.5	127.2	202.3	235.2	168.2	139.8	203.9	247.9	158.8	156.1	152.4	200.0	109.0	183.5
208.1	238.6	176.7	135.0	216.7	251.7	181.0	139.1	221.4	272.7	170.3	160.1	170.2	229.0	120.2	190.5
195.2	218.4	171.5	127.3	215.3	248.5	181.3	137.1	213.7	257.5	170.4	151.1	170.5	233.4	116.9	199.7
209.8	228.7	190.4	120.1	227.6	265.8	188.7	140.9	219.1	265.5	173.2	153.3	169.0	221.4	124.4	178.0
197.4	224.9	169.4	132.8	207.6	241.6	173.3	139.4	202.0	249.9	154.7	161.5	148.0	198.0	105.7	187.3
180.2	201.4	158.7	126.9	192.0	224.5	159.2	141.0	185.0	230.6	140.2	164.5	141.2	188.1	101.6	185.1
176.1	196.2	155.7	126.0	186.3	216.1	156.4	138.2	181.5	224.0	139.8	160.2	132.9	177.1	95.9	184.7
177.7	200.1	155.0	129.1	180.9	216.0	145.7	148.2	181.0	217.8	146.5	148.7	128.7	174.9	90.1	194.1
162.1	183.9	140.0	131.4	171.0	201.3	140.7	143.1	169.3	208.2	131.1	158.8	118.2	159.2	84.3	188.8
163.4	186.1	140.2	132.7	161.9	187.6	136.2	137.7	163.6	202.7	125.5	161.5	110.9	150.2	78.5	191.3
161.1	182.1	139.7	130.4	160.2	190.3	130.2	146.2	166.2	206.4	127.1	162.4	114.2	153.8	81.6	188.5
159.3	182.7	135.6	134.7	157.0	180.1	133.9	134.5	156.0	195.5	117.8	166.0	110.8	152.5	76.6	199.1
162.0	188.2	135.5	138.9	154.8	181.5	128.2	141.6	157.0	200.0	115.7	172.9	111.6	155.0	76.1	203.7
157.7	181.0	134.3	134.8	154.6	186.2	123.2	151.1	152.6	193.4	113.4	170.5	109.2	151.0	75.0	201.3
153.2	181.4	124.9	145.2	151.4	179.8	123.2	145.9	150.6	182.8	119.5	153.0	106.5	147.2	73.4	200.5
151.9	177.8	125.9	141.2	147.5	176.1	119.1	147.9	140.2	177.9	104.0	171.1	102.0	141.7	69.9	202.7
157.5	187.4	127.4	147.1	153.3	184.5	122.5	150.6	143.6	182.3	106.5	171.2	103.8	143.7	71.6	200.7
153.0	180.6	124.9	144.6	141.0	175.9	106.6	165.0	137.1	173.5	102.3	169.6	99.3	137.7	68.5	201.0
158.4	186.1	129.8	143.4	151.1	185.6	117.2	158.4	145.4	184.7	107.8	171.3	102.9	145.8	68.5	212.8
158.1	186.7	128.4	145.4	156.9	189.9	124.5	152.5	146.7	184.8	110.3	167.5	103.7	145.6	70.1	207.7
160.7	187.4	132.8	141.1	151.7	186.2	117.7	158.2	140.2	180.1	102.2	176.2	101.5	146.8	65.3	224.8
163.6	193.1	132.5	145.7	162.6	197.3	128.3	153.8	155.8	194.7	118.8	163.9	107.1	148.1	74.4	199.1
154.8	183.8	124.2	148.0	154.3	190.1	118.7	160.2	145.2	183.9	108.5	169.5	100.8	141.5	68.2	207.5
159.1	186.0	130.6	142.4	156.4	192.7	119.8	160.9	148.4	188.0	111.1	169.2	100.6	137.8	70.7	194.9
155.5	182.4	126.9	143.7	157.0	192.4	120.9	159.1	146.0	186.5	107.8	173.0	106.4	147.5	74.5	198.0
162.6	191.7	131.8	145.4	159.7	193.3	125.4	154.1	145.7	185.8	108.0	172.0	112.0	154.5	78.2	197.6
161.0	196.5	123.4	159.2	162.7	197.9	126.6	156.3	158.6	207.0	112.9	183.3	109.3	156.4	72.0	217.2
173.5	210.5	134.2	156.9	177.0	215.4	137.3	156.9	176.5	226.7	128.5	176.4	127.1	180.6	84.9	212.7
198.9	247.6	147.6	167.8	203.7	256.5	149.2	171.9	192.5	258.7	130.9	197.6	141.9	206.5	91.2	226.4
194.3	245.2	141.3	173.5	188.1	236.7	137.2	172.5	184.5	233.5	135.9	171.8	122.3	178.0	88.8	225.9
199.4	249.7	147.1	169.7	194.9	244.7	143.2	170.9	190.6	241.5	139.7	172.9	118.9	171.1	78.0	219.4
192.9	240.3	144.5	166.3	194.1	243.1	143.2	169.8	197.2	250.0	144.4	173.1	131.5	191.1	84.5	226.2
185.0	230.1	139.1	165.4	188.2	238.9	136.1	175.5	197.9	255.1	140.4	181.7	153.0	219.5	100.1	219.3
151.7	191.1	111.7	171.1	159.5	209.7	109.3	191.9	171.5	220.2	122.2	180.2	151.4	220.6	96.2	229.3
116.4	146.9	85.7	171.4	128.5	162.2	94.2	172.2	144.6	187.6	101.0	185.7	136.5	198.5	86.5	229.5
100.2	126.2	74.1	170.3	112.5	144.7	79.8	181.3	134.9	175.4	93.7	187.2	141.6	205.8	89.8	229.2
95.6	125.0	67.3	185.7	109.5	144.6	74.0	195.4	129.4	175.4	82.9	211.6	136.6	201.5	83.9	240.2
93.6	112.7	63.1	178.6	97.3	129.3	65.1	198.6	111.5	148.7	74.1	200.7	131.4	191.9	82.1	233.7

示し、男子は第1峯より第2峯が高く、女子は第1峯が高い。第2峯の頂点は昭和23年である。男子死亡率が女子より終始高い。

8. 50～54, 55～59, 60才以上では大正および昭和の双峯を示し、第1峯が第2峯より高い。第2峯の頂点は昭和18年より同25年までつづく。男子死亡率が女子より終始高い。

以上の如く0～4才の死亡率曲線には大正および昭和の双峯はともに現われず、5～9才では大正の峯のみが現われ、その他の年齢階級ではすべて双峯が現われる。

この第2峯は青壮年階級では著明に高く、若年または老年年齢階級になるほど峯が低くなる。しかし年齢階級の高いほど第2峯の頂点が後年に移動する。

男子15～49才では第1峯より第2峯が高く、男子50才以上と女子10才以上では第1峯が第2峯より高い。

第1峯は大正期のインフルエンザ大流行の、第2峯は第a次大戦の、各影響を受けたものであるから、前者は性別年齢別に関係なく現われ、後者は青壮年ことに男子青壮年層に対する影響が大きく現われたものとみなされる。

Ⅱ. 「全結核」年齢階級別死亡率性比の相互比較
「全結核」年齢階級別死亡率性比は、0～29才ではおおむね100以下に位し、30才以上ではおおむね100の線をはるかに越える。

a. 0～29才

死亡率性比がおおむね100以下の30才未満の階級において、0～4才は昭和10年頃までは最も高性比であるが、その後は20～24, 25～29才の性比が急騰するので、それらより以下で戦後は90台に下降する。20～24, 25～29才では近似の経過をとり、昭和6年に100をこえる。20～24才では昭和26年以降100以下にもどるが、25～29才では同年以降100に接近しても100の線より上にとどまる。5～9, 15～19才では近似の経過をとり、性比100以下でしかも20～24, 25～29才より低い。10～14才では他の年齢階級よりとくにはなれて低く、昇降の幅も小である。

b. 30才以上

死亡率性比がおおむね100以上の30才以上の年齢階級において、30～34, 35～39才は近似の経過をとり、30～34才では昭和6年, 35～39才では昭和2年に100をこえ、以後は100以下に下降することはない。戦後は性比が下降傾向を示すのはこれら2階級のみである。40才以上の階級はいずれも100以上で近似の経過をとり、年次を追って上昇し、戦後も上昇傾向を示す。しかも高年齢階級ほど高性比を示す。50～59才は終始150の線以上で上昇し、60才以上では他の年齢階級よりとくにはなれて高く、終始上昇し昭和2年以降は200をこえる。

以上の如く明治年代より昭和18年までは、社会的条件によつて影響を多く受けるのは青壮年で、とくに今次大戦の影響を男子青壮年が多く受けた。戦後は社会的条件改善の影響を受けて全年令層ともに死亡率は減少するが、その影響は低い年齢階級ほど多く現われ、とくに女子の改善は早い。そこで高年齢階級ほど改善の現われがおそく、しかも高性比を示すことになる。

稿を終るにのぞみ、恩師吉岡博人教授および諸岡妙子助教授の御懇篤な御指導御校閲を感謝する。

参 考 文 献

- 1) 吉岡 博人：日臨結核 4 218～224 (昭18)
- 2) 吉岡 博人：綜医学 8 657～662 (昭26)
- 3) 吉岡 博人：日医事新報 1489号 24～27 (昭27)
- 4) 山口 正義・隈部 英雄：日本に於ける結核の現状。結核予防会 (昭29)
- 5) 諸岡 妙子：東女医大誌 24 81～88 (昭29)
- 6) 諸岡 妙子・壺 君代：東女医大誌 25 119～133 (昭30)
- 7) 吉岡博人ほか：日医事新報 1667号 22～27 (昭31)
- 8) 明石 み代：東女医大誌 30 (昭35)
- 9) 久間 賢：山口医学 8 878～887 (昭34)
- 10) 小沢 尚彦：名古屋医学 80 1501～1527 (昭34)